



産業振興

◆農用地の保全

農業・農村が有する多面的機能の維持、発展を図るため、多面的機能支払交付金事業により、市内25地域の共同活動に対して支援を行います。

◆農業の集団化と担い手の育成

各地域において、中心となる経営体や新規就農者の確保および農地集積等のありかたを定めた「人・農地プラン」を、地域ごとに策定できるよう支援します。

◆農業経営の改善

主食用米から飼料用米への転換など、自主的な需給調整への取組みを進めており、引き続き過剰生産による米価の下落を防ぐため、飼料用米等を作付けする農業者への支援を行います。

◆商工業振興

創業支援として実施している「茂原創業塾」や「起

業家交流会」に加え、金融機関との連携強化により、創業環境をさらに整備することで、本市における起業・創業を推進し、地域経済の活性化を図ります。

◆観光振興

今年で4回目となる「もばら冬の七夕まつり」を、2月に開催し、多くの来場者をお迎えすることができました。

春には「茂原桜まつり」を、そして夏には、本市最大のイベントである「茂原七夕まつり」を、例年以上に盛大に開催できるよう、関係機関との連携や情報発信を強化し、集客数の増加を図ります。

また、周辺市町村との連携を強化し、広域的な取り組みを充実させ、効果的な観光振興や、交流人口の拡大にも努めます。

市民自治

◆本納公民館・本納支所複合施設

3月24日に落成式を行い、4月1日にオープンしました。公民館機能、支所機能に加え、地域の防災拠点および避難場所として、利便性と安全性に優れた環境を提供し、地域住民の交流や地域活動を促進します。

◆市民活動の推進

「市民活動支援センターのあり方検討委員会」を設置し、検討を重ねてきました。市民活動団体や地域まちづくり協議会との意見交換を実施し、3月に提言書をいただきましたので、これを踏まえ、市の基本方針を策定します。

◆シティプロモーション事業

昨年度、市民ワークショップや庁内検討会議等を経て、本市のブランドメッセージを『カラフル&ナチュラル 自然体になれるまち もばらに!』と決定しました。これは、彩り豊かな花や緑を四季を通じて楽しめるまち、色鮮やかな七夕まつりのまち、そして温暖で過ごしやすく、自然体になれるまち等、茂原市が現在から未来に向かって目指す姿を、メッセージに込めています。

今後は、このブランドメッセージを活用し、市民の「茂原市」に対する愛着心の醸成を図ります。